

「情報公開文書」

研究用

下記臨床研究は「東海大学医学部臨床研究審査委員会」の承認および研究機関の長の許可を得て実施しています。当該試料・診療情報等の使用については、研究計画書に従って匿名化処理が行われており、研究対象者の氏名や住所等が特定できないよう安全管理措置を講じた取り扱いを厳守しています。

本研究に関する詳しい情報をご希望でしたら問い合わせ担当者まで直接ご連絡ください。また、本研究の成果は学会や論文等で公表される可能性があります。個人が特定される情報は一切公開しません。

本研究の研究対象者に該当すると思われる方又はその代理人の方の中で試料・診療情報等が使用されることについてご了承頂けない場合は、下記お問い合わせ先までご連絡ください。研究対象者から除外させていただきます。但し、そのお申出は研究成果の公表前までの受付となりますのでご了承願います。なお、同意の有無が今後の治療等に影響することはありません。

心血管病理レジストリー（剖検・手術由来）に関する研究**1. 研究の対象**

当院循環器内科で実施している下記の既存研究のうち、すでに試料・診療情報等をご提供いただいている方が対象です。

11R115（剖検例における冠動脈ステント病理解析レジストリー）

これらの研究は、末梢動脈を含む心血管病変の病理学的検討を目的として実施されており、対象の方からはすでに文書による同意をいただいたうえで、検体・診療情報を収集しています。今回、研究の統合に伴い、これらの既存検体・情報を、新たに承認された「心血管病理レジストリー（剖検・手術由来）」の一部として継続利用させていただくため、本情報公開（オプトアウト）を行うものです。

2. 研究実施期間

（機関の長の許可日）から 2030 年 10 月 30 日 までを予定しています。既存研究の研究期間終了後も、保存されている検体・情報は、本研究の期間内に限って継続利用します。

3. 研究目的・方法

本研究「心血管病理レジストリー（剖検・手術由来）」では、手術や剖検により得られた心臓・血管（冠動脈、心臓弁、下肢動脈、大動脈、バイパスグラフト、頸動脈、腎動脈、心筋内小血管、心耳、静脈など）の組織を、共通の手順に従って収集し、病理学的に詳しく評価します。また、CT や血管内イメージング（IVUS、OCT 等）などの画像情報、臨床情報と合わせて解析し、再狭窄、血栓形成、炎症、石灰化、治療デバイスへの反応などの実態や関連因子を明らかにすることを目的とします。

今回のオプアウトにより、新たな検査や診療行為が追加されることはありません。既に保存されている検体・診療情報のみを、匿名化した研究用 ID により管理し、本研究で二次利用します。必要に応じて、病変部位のごく一部を用いた遺伝子解析（RNA 解析等）を行う場合がありますが、いずれの場合も、氏名や住所などの直接個人を特定できる情報が解析に用いられることはありません。

4. 研究に用いる試料・情報の種類

- ・ 年齢・性別、診断名、既往歴、生活習慣や合併症の有無
- ・ 手術やカテーテル治療の内容、使用したデバイスの種類・サイズ
- ・ 画像検査の結果（CT、血管内イメージングなど）
- ・ 検体の病理所見
- ・ 必要に応じて実施する遺伝子解析の結果

これらはすべて研究用 ID（匿名化）で管理し、氏名、生年月日、住所、カルテ番号などの個人情報とは別に保管して厳重に管理します。

5. 研究組織

本研究は東海大学医学部内科学系循環器内科学を中心とした多施設共同研究です。

既存研究（11R115）で当院に保存されている検体・情報は、当院においてのみ、本研究の目的の範囲内で利用します。

- ・ 研究責任者 東海大学医学部内科学系循環器内科学 講師 鳥居 翔
- ・ 研究実施者 内科学系循環器内科学の医師 ほか

6. 利益相反に関する事項

この研究は、特定企業等からの資金提供はないため開示すべき利益相反はありません。

7. お問い合わせ先

東海大学医学部付属病院 （電話：代表 0463-93-1121 内線：5 4 1 9）

研究責任者/問い合わせ担当者 循環器内科 講師 鳥居 翔

「情報公開文書」

研究用

下記臨床研究は「東海大学医学部臨床研究審査委員会」の承認および研究機関の長の許可を得て実施しています。当該試料・診療情報等の使用については、研究計画書に従って匿名化処理が行われており、研究対象者の氏名や住所等が特定できないよう安全管理措置を講じた取り扱いを厳守しています。

本研究に関する詳しい情報をご希望でしたら問い合わせ担当者まで直接ご連絡ください。また、本研究の成果は学会や論文等で公表される可能性があります。個人が特定される情報は一切公開しません。

本研究の研究対象者に該当すると思われる方又はその代理人の方の中で試料・診療情報等が使用されることについてご了承頂けない場合は、下記お問い合わせ先までご連絡ください。研究対象者から除外させていただきます。但し、そのお申出は研究成果の公表前までの受付となりますのでご了承願います。なお、同意の有無が今後の治療等に影響することはありません。

心血管病理レジストリー（剖検・手術由来）に関する研究

1. 研究の対象

当院循環器内科で実施している下記の既存研究のうち、すでに試料・診療情報等をご提供いただいている方が対象です。

15R084（方向性冠動脈粥腫切除術施行例における冠動脈内イメージングと病理像の比較）

これらの研究は、末梢動脈を含む心血管病変の病理学的検討を目的として実施されており、対象の方からはすでに文書による同意をいただいたうえで、検体・診療情報を収集しています。今回、研究の統合に伴い、これらの既存検体・情報を、新たに承認された「心血管病理レジストリー（剖検・手術由来）」の一部として継続利用させていただくため、本情報公開（オプアウト）を行うものです。

2. 研究実施期間

（機関の長の許可日）から 2030 年 10 月 30 日 までを予定しています。既存研究の研究期間終了後も、保存されている検体・情報は、本研究の期間内に限って継続利用します。

3. 研究目的・方法

本研究「心血管病理レジストリー（剖検・手術由来）」では、手術や剖検により得られた心臓・血管（冠動脈、心臓弁、下肢動脈、大動脈、バイパスグラフト、頸動脈、腎動脈、心筋内小血管、心耳、静脈など）の組織を、共通の手順に従って収集し、病理学的に詳しく評価します。また、CT や血管内イメージング（IVUS、OCT 等）などの画像情報、臨床情報と合わせて解析し、再狭窄、血栓形成、炎症、石灰化、治療デバイスへの反応などの実態や関連因子を明らかにすることを目的とします。

今回のオプアウトにより、新たな検査や診療行為が追加されることはありません。既に保存されている検体・診療情報のみを、匿名化した研究用 ID により管理し、本研究で二次利用します。必要に応じて、病変部位のごく一部を用いた遺伝子解析（RNA 解析等）を行う場合がありますが、いずれの場合も、氏名や住所などの直接個人を特定できる情報が解析に用いられることはありません。

4. 研究に用いる試料・情報の種類

- ・ 年齢・性別、診断名、既往歴、生活習慣や合併症の有無
- ・ 手術やカテーテル治療の内容、使用したデバイスの種類・サイズ
- ・ 画像検査の結果（CT、血管内イメージングなど）
- ・ 検体の病理所見
- ・ 必要に応じて実施する遺伝子解析の結果

これらはすべて研究用 ID（匿名化）で管理し、氏名、生年月日、住所、カルテ番号などの個人情報とは別に保管して厳重に管理します。

5. 研究組織

本研究は東海大学医学部内科学系循環器内科学を中心とした多施設共同研究です。

既存研究（15R084）で当院に保存されている検体・情報は、当院においてのみ、本研究の目的の範囲内で利用します。

- ・ 研究責任者 東海大学医学部内科学系循環器内科学 講師 鳥居 翔
- ・ 研究実施者 内科学系循環器内科学の医師 ほか

6. 利益相反に関する事項

この研究は、特定企業等からの資金提供はないため開示すべき利益相反はありません。

7. お問い合わせ先

東海大学医学部付属病院 （電話：代表 0463-93-1121 内線：5 4 1 9）

研究責任者/問い合わせ担当者 循環器内科 講師 鳥居 翔

「情報公開文書」

研究用

下記臨床研究は「東海大学医学部臨床研究審査委員会」の承認および研究機関の長の許可を得て実施しています。当該試料・診療情報等の使用については、研究計画書に従って匿名化処理が行われており、研究対象者の氏名や住所等が特定できないよう安全管理措置を講じた取り扱いを厳守しています。

本研究に関する詳しい情報をご希望でしたら問い合わせ担当者まで直接ご連絡ください。また、本研究の成果は学会や論文等で公表される可能性があります。個人が特定される情報は一切公開しません。

本研究の研究対象者に該当すると思われる方又はその代理人の方の中で試料・診療情報等が使用されることについてご了承頂けない場合は、下記お問い合わせ先までご連絡ください。研究対象者から除外させていただきます。但し、そのお申出は研究成果の公表前までの受付となりますのでご了承願います。なお、同意の有無が今後の治療等に影響することはありません。

心血管病理レジストリー（剖検・手術由来）に関する研究**1. 研究の対象**

当院循環器内科で実施している下記の既存研究のうち、すでに試料・診療情報等をご提供いただいている方が対象です。

20R036「剖検例およびに弁膜症手術例における弁膜症疾患病理解析レジストリー」

これらの研究は、末梢動脈を含む心血管病変の病理学的検討を目的として実施されており、対象の方からはすでに文書による同意をいただいたうえで、検体・診療情報を収集しています。今回、研究の統合に伴い、これらの既存検体・情報を、新たに承認された「心血管病理レジストリー（剖検・手術由来）」の一部として継続利用させていただくため、本情報公開（オプトアウト）を行うものです。

2. 研究実施期間

（機関の長の許可日）から 2030 年 10 月 30 日 までを予定しています。既存研究の研究期間終了後も、保存されている検体・情報は、本研究の期間内に限って継続利用します。

3. 研究目的・方法

本研究「心血管病理レジストリー（剖検・手術由来）」では、手術や剖検により得られた心臓・血管（冠動脈、心臓弁、下肢動脈、大動脈、バイパスグラフト、頸動脈、腎動脈、

心筋内小血管、心耳、静脈など）の組織を、共通の手順に従って収集し、病理学的に詳しく評価します。また、CT や血管内イメージング（IVUS、OCT 等）などの画像情報、臨床情報と合わせて解析し、再狭窄、血栓形成、炎症、石灰化、治療デバイスへの反応などの実態や関連因子を明らかにすることを目的とします。

今回のオプアウトにより、新たな検査や診療行為が追加されることはありません。既に保存されている検体・診療情報のみを、匿名化した研究用 ID により管理し、本研究で二次利用します。必要に応じて、病変部位のごく一部を用いた遺伝子解析（RNA 解析等）を行う場合がありますが、いずれの場合も、氏名や住所などの直接個人を特定できる情報が解析に用いられることはありません。

4. 研究に用いる試料・情報の種類

- ・ 年齢・性別、診断名、既往歴、生活習慣や合併症の有無
- ・ 手術やカテーテル治療の内容、使用したデバイスの種類・サイズ
- ・ 画像検査の結果（CT、血管内イメージングなど）
- ・ 検体の病理所見
- ・ 必要に応じて実施する遺伝子解析の結果

これらはすべて研究用 ID（匿名化）で管理し、氏名、生年月日、住所、カルテ番号などの個人情報とは別に保管して厳重に管理します。

5. 研究組織

本研究は東海大学医学部内科学系循環器内科学を中心とした多施設共同研究です。既存研究（20R036）で当院に保存されている検体・情報は、当院においてのみ、本研究の目的の範囲内で利用します。

- ・ 研究責任者 東海大学医学部内科学系循環器内科学 講師 鳥居 翔
- ・ 研究実施者 内科学系循環器内科学の医師 ほか

6. 利益相反に関する事項

この研究は、特定企業等からの資金提供はないため開示すべき利益相反はありません。

7. お問い合わせ先

東海大学医学部付属病院 （電話：代表 0463-93-1121 内線：5 4 1 9）

研究責任者/問い合わせ担当者 循環器内科 講師 鳥居 翔

「情報公開文書」

研究用

下記臨床研究は「東海大学医学部臨床研究審査委員会」の承認および研究機関の長の許可を得て実施しています。当該試料・診療情報等の使用については、研究計画書に従って匿名化処理が行われており、研究対象者の氏名や住所等が特定できないよう安全管理措置を講じた取り扱いを厳守しています。

本研究に関する詳しい情報をご希望でしたら問い合わせ担当者まで直接ご連絡ください。また、本研究の成果は学会や論文等で公表される可能性があります。個人が特定される情報は一切公開しません。

本研究の研究対象者に該当すると思われる方又はその代理人の方の中で試料・診療情報等が使用されることについてご了承頂けない場合は、下記お問い合わせ先までご連絡ください。研究対象者から除外させていただきます。但し、そのお申出は研究成果の公表前までの受付となりますのでご了承願います。なお、同意の有無が今後の治療等に影響することはありません。

心血管病理レジストリー（剖検・手術由来）に関する研究**1. 研究の対象**

当院循環器内科で実施している下記の既存研究のうち、すでに試料・診療情報等をご提供いただいている方が対象です。

23R063（透析患者におけるバスキュラーアクセスの病理学的検討）

これらの研究は、末梢動脈を含む心血管病変の病理学的検討を目的として実施されており、対象の方からはすでに文書による同意をいただいたうえで、検体・診療情報を収集しています。今回、研究の統合に伴い、これらの既存検体・情報を、新たに承認された「心血管病理レジストリー（剖検・手術由来）」の一部として継続利用させていただくため、本情報公開（オプトアウト）を行うものです。

2. 研究実施期間

（機関の長の許可日）から 2030 年 10 月 30 日 までを予定しています。既存研究の研究期間終了後も、保存されている検体・情報は、本研究の期間内に限って継続利用します。

3. 研究目的・方法

本研究「心血管病理レジストリー（剖検・手術由来）」では、手術や剖検により得られた心臓・血管（冠動脈、心臓弁、下肢動脈、大動脈、バイパスグラフト、頸動脈、腎動脈、

心筋内小血管、心耳、静脈など）の組織を、共通の手順に従って収集し、病理学的に詳しく評価します。また、CT や血管内イメージング（IVUS、OCT 等）などの画像情報、臨床情報と合わせて解析し、再狭窄、血栓形成、炎症、石灰化、治療デバイスへの反応などの実態や関連因子を明らかにすることを目的とします。

今回のオプアウトにより、新たな検査や診療行為が追加されることはありません。既に保存されている検体・診療情報のみを、匿名化した研究用 ID により管理し、本研究で二次利用します。必要に応じて、病変部位のごく一部を用いた遺伝子解析（RNA 解析等）を行う場合がありますが、いずれの場合も、氏名や住所などの直接個人を特定できる情報が解析に用いられることはありません。

4. 研究に用いる試料・情報の種類

- ・ 年齢・性別、診断名、既往歴、生活習慣や合併症の有無
- ・ 手術やカテーテル治療の内容、使用したデバイスの種類・サイズ
- ・ 画像検査の結果（CT、血管内イメージングなど）
- ・ 検体の病理所見
- ・ 必要に応じて実施する遺伝子解析の結果

これらはすべて研究用 ID（匿名化）で管理し、氏名、生年月日、住所、カルテ番号などの個人情報は別に保管して厳重に管理します。

5. 研究組織

本研究は東海大学医学部内科学系循環器内科学を中心とした多施設共同研究です。

既存研究（23R063）で当院に保存されている検体・情報は、当院においてのみ、本研究の目的の範囲内で利用します。

- ・ 研究責任者 東海大学医学部内科学系循環器内科学 講師 鳥居 翔
- ・ 研究実施者 内科学系循環器内科学の医師 ほか

6. 利益相反に関する事項

この研究は、特定企業等からの資金提供はないため開示すべき利益相反はありません。

7. お問い合わせ先

東海大学医学部付属病院 （電話：代表 0463-93-1121 内線：5419）

研究責任者/問い合わせ担当者 循環器内科 講師 鳥居 翔

「情報公開文書」

研究用

下記臨床研究は「東海大学医学部臨床研究審査委員会」の承認および研究機関の長の許可を得て実施しています。当該試料・診療情報等の使用については、研究計画書に従って匿名化処理が行われており、研究対象者の氏名や住所等が特定できないよう安全管理措置を講じた取り扱いを厳守しています。

本研究に関する詳しい情報をご希望でしたら問い合わせ担当者まで直接ご連絡ください。また、本研究の成果は学会や論文等で公表される可能性があります。個人が特定される情報は一切公開しません。

本研究の研究対象者に該当すると思われる方又はその代理人の方の中で試料・診療情報等が使用されることについてご了承頂けない場合は、下記お問い合わせ先までご連絡ください。研究対象者から除外させていただきます。但し、そのお申出は研究成果の公表前までの受付となりますのでご了承願います。なお、同意の有無が今後の治療等に影響することはありません。

心血管病理レジストリー（剖検・手術由来）研究**1. 研究の対象**

当院循環器内科で実施している下記の既存研究のうち、すでに試料・診療情報等をご提供いただいている方が対象です。

24R045「剖検例および四肢切断例における末梢動脈病理解析レジストリー」

これらの研究は、末梢動脈を含む心血管病変の病理学的検討を目的として実施されており、対象の方からはすでに文書による同意をいただいたうえで、検体・診療情報を収集しています。今回、研究の統合に伴い、これらの既存検体・情報を、新たに承認された「心血管病理レジストリー（剖検・手術由来）」の一部として継続利用させていただくため、本情報公開（オプトアウト）を行うものです。

2. 研究実施期間

（機関の長の許可日）から 2030 年 10 月 30 日 までを予定しています。既存研究の研究期間終了後も、保存されている検体・情報は、本研究の期間内に限って継続利用します。

3. 研究目的・方法

本研究「心血管病理レジストリー（剖検・手術由来）」では、手術や剖検により得られた心臓・血管（冠動脈、心臓弁、下肢動脈、大動脈、バイパスグラフト、頸動脈、腎動脈、

心筋内小血管、心耳、静脈など）の組織を、共通の手順に従って収集し、病理学的に詳しく評価します。また、CT や血管内イメージング（IVUS、OCT 等）などの画像情報、臨床情報と合わせて解析し、再狭窄、血栓形成、炎症、石灰化、治療デバイスへの反応などの実態や関連因子を明らかにすることを目的とします。

今回のオプアウトにより、新たな検査や診療行為が追加されることはありません。既に保存されている検体・診療情報のみを、匿名化した研究用 ID により管理し、本研究で二次利用します。必要に応じて、病変部位のごく一部を用いた遺伝子解析（RNA 解析等）を行う場合がありますが、いずれの場合も、氏名や住所などの直接個人を特定できる情報が解析に用いられることはありません。

4. 研究に用いる試料・情報の種類

- ・ 年齢・性別、診断名、既往歴、生活習慣や合併症の有無
- ・ 手術やカテーテル治療の内容、使用したデバイスの種類・サイズ
- ・ 画像検査の結果（CT、血管内イメージングなど）
- ・ 検体の病理所見
- ・ 必要に応じて実施する遺伝子解析の結果

これらはすべて研究用 ID（匿名化）で管理し、氏名、生年月日、住所、カルテ番号などの個人情報は別に保管して厳重に管理します。

5. 研究組織

本研究は東海大学医学部内科学系循環器内科学を中心とした多施設共同研究です。既存研究（24R045）で当院に保存されている検体・情報は、当院においてのみ、本研究の目的の範囲内で利用します。

- ・ 研究責任者 東海大学医学部内科学系循環器内科学 講師 鳥居 翔
- ・ 研究実施者 内科学系循環器内科学の医師 ほか

6. 利益相反に関する事項

この研究は、特定企業等からの資金提供はないため開示すべき利益相反はありません。

7. お問い合わせ先

東海大学医学部付属病院 （電話：代表 0463-93-1121 内線：5 4 1 9）

研究責任者/問い合わせ担当者 循環器内科 講師 鳥居 翔